

## 第 1 回環境審議会での意見等に関する対応

	意 見	対 応 (案)	関連 ページ
1	取組項目が非常に多いように思うが、4つの基本施策をバランスよく推進していくのか。それとも、重点的に取り組む重点施策のようなものがあるのか。	4つの基本施策をバランスよく推進していきたいと考えており、重点施策は定めない。	P. 21
2	記載内容について、施策の順序やスケジュール等を記載したロードマップのようなものの記載があると、市民からは分かりやすく、結果として環境意識の高まりにもつながるのではないか。	ロードマップは記載せず、個別施策ごとに、今後5年間に必要な具体的な取り組み等をまとめた「実施計画」を定め、評価検証していくことで対応する。	P. 53
3	市民が環境に対して役立っているという実感が得られることが非常に大事である。	具体的な実例を記載し、市民をはじめ各主体が実行可能なことを着実に実施することが大切であることを示す。	P. 4 各主体の役割
4	北部に豊かな自然環境、里山が残っているほか、若園公園などもある。第1章に自然環境の豊かさをPRして記述すれば良い。	第1章に、自然環境の写真等を記載する。	P. 14・15 4 環境の現状
5	自然環境の豊かさの他に、東芝が最先端の内容となるスマートコミュニティを実施予定であるので、そのあたりも市民向けにPRした方が良いのではないか。	東芝スマートコミュニティの説明として、関西イノベーション国際戦略総合特区のHP中で公表されている内容を記載する。	P. 42・43 (3)低炭素な暮らしや事業活動の推進
6	小・中学校の環境学習に、自然の中をハイキングし、自然マップづくりをするなど、自然と触れ合う機会を取り入れることで、環境意識が高まるのではないか。	個別の事業であるため、今後、実施を検討する。	P. 20 P. 21
7	茨木市の自然の魅力は、森林にあると思うが、森林を対象とする施策がない。もっと、森林についても検討してはどうか。	具体的な取り組みについては、今後、実施計画の中で検討する。	P. 32～P. 37
8	環境を知ることによって防ぐことができる災害もあるため、環境施策を推進することは、安心・安全な生活環境をつくることにつながるといった内容を記載してほしい。国もそのような視点で環境基本計画を策定しているため、ぜひ記載してほしい。	国の基本計画には「安心・安全」といった視点もあるが、この視点で取り組む内容は範囲が広いいため、市の環境基本計画で取り組む環境の範囲を第1章で示し、安心・安全な生活環境の確保につながる取り組みとして、「新たな環境リスクへの対応」部分に記載している。 なお、環境について知る機会や情報提供に努める。	P. 1 計画の趣旨 P. 2 対象範囲 P. 28～29 新たな環境リスクへの対応
9	地球温暖化によるゲリラ豪雨や船舶からの外来物の侵入等、環境の良い面だけでなくリスク面も教育してほしい。	個別の事業であるため、今後、環境教育を実施する際に反映させる。	
10	課題として生物多様性を担当する部署がないということが記述されている。一方、新名神や安威川ダムなどの大規模工事での緑化は非常に大事で、生物多様性を確認する体制が必要ではないか。	生物多様性に関する市の体制については、今後の課題とする。	P. 15 環境の現状
11	立命館大学の大阪いばらきキャンパスの開設や新名神高速道路のインターチェンジの設置などにより、これまでよりも多くの方が茨木市を訪れることが考えられるため、このような方にも、環境意識を向上するような施策等について、記載してほしい。	個別の事業であるため、今後、環境教育を実施する際に反映させる。	
12	治水目的のダムにより、下流側の環境が大きく変わってしまう可能性があるため、事業者と情報のやりとりをしてほしい	今後とも、情報収集に努める。	
13	安威川ダム、新名神については、これまでに無いような環境への影響も想定されるため、これらを考慮した計画としてほしい。	大規模プロジェクトが環境に与える影響について、これを踏まえた計画とするよう、求められる視点を修正する。	P. 20 求められる視点
14	今までの10年間でどう環境が変わったのか、それが分かるグラフ等があれば、環境の現状と今後の方向性が分かるのではないか	第1章の14ページ以降に現行計画の現状と課題を記載しており、数値の把握可能な図表は、10年間の記載とする。	P. 14～19 環境の現状